

本庁舎等整備に係る主な調査結果について

1. 耐震診断結果（速報値）について

(1) 主旨

区民会館ホール部分について、現状の耐震性能を把握するために現行の耐震診断基準に基づき、耐震診断を実施した。

(2) 調査結果

I s 値：0.61

(3) 耐震改修の例示について

鉄筋コンクリートの壁の追加及び、既存鉄筋コンクリートの壁を厚くするなどの補強により、構造体の耐震安全性Ⅱ類（I s 値：0.75以上）相当の耐震性を確保できる見込みである。

2. 地盤調査及び地中熱調査結果について

(1) 地盤調査結果について

①主旨

本庁舎等の計画にあたり、敷地地盤の地層構成及び土質特性を把握し、設計・施工上の基礎資料を得る目的で実施した。

②調査結果

新庁舎の想定基礎底レベルにおいて、建物を支持する地盤として期待ができる。

(2) 地中熱調査結果について

①主旨

本庁舎等の計画にあたり、地中熱利用設備の採熱効率に関する基礎データを得る目的で実施した。

②調査結果

熱伝導率は標準的な値を示している。今後、地中熱を利用する方式、コストを考慮しながら、地中熱利用施設の検討を進める。

3. 樹木診断調査結果について

(1) 主旨

本庁舎等の計画にあたり、敷地内に生息するケヤキ等の樹木の調査・診断と、これに基づく健全度及び移植判定内容の整理を行うことを目的として実施した。

(2) 調査対象樹木（合計39本）

①ケヤキ

②幹周り120cm以上の樹木

(3) 調査結果

①外観診断（健全度）

健全：	1本
注意すべき被害がある：	31本
著しい被害がある：	5本
不健全：	2本

②移植適正度診断

移植可：	5本
移植難：	19本
移植不可：	15本

4. 執務環境調査結果について

(1) 主旨

本庁舎等の計画にあたり、執務環境を効率的で働きやすいものとするため、今後行われる設計作業に向け、現状の執務室等の使用状況や課題に対する調査を行った。

(2) 主な調査結果

①文書量調査

収納スペースや書庫スペースを算出するために、事務所内と書庫・倉庫の文書量を把握した。保管文書量は、他の自治体に比べて、かなり高い数値になっている。

②物品量調査

倉庫スペースを算出するために、現状の保管場所と物品量を把握した。

③会議頻度調査

会議の実態から、会議室の規模と必要数を算出した。

④相談頻度調査

区民や事業者との相談の実態から、相談スペースの規模と必要数を算出した。

⑤窓口必要数調査

窓口で対応する業務の実態から、適切な窓口数を算出した。

⑥部門近接度調査

各課へ業務上、他のどの課と近接した方が良いかを調査し、相関関係を図式化した。

⑦来庁者動線調査

庁舎に訪れた人の訪問先から、課別の来庁者の人数や、2課以上訪問した場合の課の組み合わせと来庁者数を集計した。

5. その他

調査に関する委員会報告資料については、現在、詳細を検討中であり、作成次第、関係者へ送付いたします。